

令和5年度修了式 校長式辞

今日で令和5年度が修了です。

まずはここにいる生徒諸君と先生方にお礼を言います。

命を大事にし、学校に登校し、学習と部活動の両立に努めました。

そして自主貢献を多くの生徒、先生方が実践してくれました。

「よく頑張りましたね」

学校ミッションの自主貢献は、なりたい自分になるための「志」のことで。

社会はストレスやプレッシャーが多くあります。そんなときでも凹まず進めるのは、自主貢献をできるからです。これは岡野誠さんからも学んだことです。

さて明日から春休みです。

あらゆる生物の中で人間だけが、振り返って失敗や未完成を明日に生かすことができる生き物です。

私から提案があります。

16日間もある春休み中、教科の復習でも体を鍛えることでも読書でも、ぜひ自分で決めて1つのことを続けて取り組んでみましょう。

習慣となり結果として表れるのは100日後です。

学習でも運動でも楽器の演奏や絵を描くことでも、もっと上手く、もっと強くなるためには2つの方法があります。

1つめは、早くスタートすることです。365日後、現2年生は卒業し進路が決まっています。今日から始めれば365日ありますが、4月8日の始業式からだだと349日です。16日分を一気に逆転するのは困難です。スタートは早い方がよい理由です。

2つめは、他の人が休んでいるとき、遊んでいるとき練習し続けることです。

メジャーリーガー大谷選手も、高音の歌声がきれいな歌手のMISIAも、そしてここにいる先生方もそうやってきたから今の姿があります。見せない・あえて言わないだけで皆、陰の努力を続けた結果です。

これから先の人生は中学1年生・2年生には見えにくいので教えますが、実は人の縁や運の良さが影響してきます。あなたにとっての味方が増え、運も良くなるコツがあります。

それは元気のいい「あいさつ」を意識して実践する、つまり「凡事徹底」です。

挨拶ができる人は「感じのいい人」ですから、選ぶ側から好感が持たれます。

挨拶ができる人は入試や、緊張した試合や演奏場面でも力を発揮でき、選ぶ方も仲間に入れたくなるのです。

柵中の殆どの方は「感じがいい人」です。残念ですがまだできていない人もいます。

道路の真ん中に白線が引かれています。白線は5mです。白線と白線の間も5mです。

私は白線2本分くらいの距離、遠くても10mだと自分から挨拶します。距離の長さは声の大きさと比例します。2年生の中には、白線4本分くらいから挨拶ができる人がいます。

春休み中は、特に町中や校外で、学校に来るお客様へのあいさつを元気よくしてみましよう。相手に気づいたら避けずに自分から向かっていくのです。挨拶が返ってこないときは、聞こえていないか、チャンスを逃している残念な人なのです。

現在の2年生はまもなく柵中の顔となる役割と責任があり、1年生はすぐにお手本とされる身近な上級生です。

3月26日に来校する新1年生には上級生のまねをしなさい、と伝えます。

ここにいる生徒諸君が元気なあいさつができると、新1年生も元気なあいさつをするようになるのです。

元気よく爽やかな挨拶ができる姿のある柵中、人の縁と幸運を呼び込む柵中生であってほしい。

どうぞよろしくお願いします。

おわりに、恒例の必ず守って欲しい

「い・き・て・け・な」を示します。

「い」 医者の世話にならない

「き」 救急車の世話にならない

「て」 寺の世話にならない

「け」 警察の世話にならない

「な」 なまけない

4月8日、又ここで逢いましょう。